

掛川・明ヶ島キャンプ場

携帯電話も通じない掛川市の山間部にある「明ヶ島キャンプ場」(同市炭焼)が28日、リニューアルして3年ぶりにオープンする。「穏やかなる事を学ぶ」がテーマ。月明かりと星空の下、虫や鳥の声、川のせせらぎを楽しむ大人の空間と、あえて不便さを売りにしている。(赤野嘉春)

不便さを魅力に 「自然楽しんで」



「ウッドデッキサイト」を紹介する松山拓也社長(左)と山田珠一社長(右)＝掛川市炭焼で

大人の空間 きょうリニューアルオープン



JR掛川駅から車で一時間ほど。森町方面に延びる主要道路を外れ、細い山道を登るとキャンプ場に到着。カエデや桜などの樹木に覆われ、足元を流れる川にはアマゴやカニが生息する。リニューアルオープンをプロデュースしたデザイン会社社長の松山拓也さん(四)＝磐田市＝は「できるだけ自然に溶け込める空間を演出した。不自由をせいで

この日の
タ刊
キャンプ場

たぐに楽しんでほしい」と設置「山田」(山田珠一社長)で、市から無償貸与で

四十二百六十平方メートルの敷地には、コテージ六棟やドリ、駐車場の造成などに取

る。利用者が持参したテントを張ったり、ミニテーブルを置いて食事をしたり

する。キャンプ場では全国的にも珍しいという。電灯は最小限に抑えて星空が見

やすいように工夫し、外部との連絡は管理棟の有線電話一台だけという。

同キャンプ場は、市が九七八年度に整備。指定管理などで運営していたが、キャンプ場」で検案でき

三年半前の台風被害で休止した。放置状態の解消に名乗りを上げたのが地元の建

507へ。

利用期間は四月～十一月

ホームページ「炭焼の杜

25)

2